

平塚市西部福祉会館 浴場の管理運営基準

令和 7 年 6 月

平塚市福祉部福祉総務課

平塚市西部福祉会館 浴場の管理運営基準

この基準は、平塚市西部福祉会館に設置されている浴場について、利用者の安全と適正な水質状態を確保し、利用者に快適な環境を提供することを目的とする。指定管理者はこの基準を原則として遵守したうえで、浴場の管理マニュアルを作成し、すべての従事者に周知徹底すること。（ただし、管理運営上適当な場合には、平塚市と事前に協議したうえで、この基準の一部を変更した管理運営を行うことができるものとする。）

1 管理方針

指定管理者は次の法令及び指針等に基づき、利用者の安全確保と衛生管理を徹底するため、管理体制を構築すること。

- ・公衆浴場法
- ・神奈川県公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準等に関する条例
- ・神奈川県公衆浴場法施行細則
- ・その他厚生労働省や保健福祉事務所等の公的機関からの関連指針、要領等

2 浴場運営業務

指定管理者は浴場の運営にあたり、次の業務をおこなうこと。

（１）入場受付・案内業務

- ア 施設入口付近に人員を配置し、利用受付、利用料金の徴収（券売機）施設案内に対応すること。
- イ 浴場を一度に利用できる人数は男女ともに各約６人とするが、衛生及び安全が損なわれると認められる場合には、利用の制限をおこなうこと。
- ウ 利用者は老人又は障がい者のため、その利用に支障がないよう、可能な限り配慮した運営をおこなうこと。

（２）巡視業務

- ア 利用者が安全、清潔に利用できるよう定期的に巡視し、必要に応じて簡易清掃をおこなうこと。
- イ 利用者が迷惑行為、公序良俗に反する行為、他人に危害を与える行為を行った場合及びその他公衆衛生に害を及ぼすと認めた場合は、利用制限や退場を含めた措置をとること。
- ウ 浴場やシャワー等に利用される水量、湯量の状況を定期的に分析し、給排水・衛生設備を最適な方法に設定すること。

（３）緊急時対応

業務内容説明書「７ 留意事項 （２）事件、事故及び災害等の緊急時の対応」を参照すること。

(4) 日常清掃・点検

点検チェックシート及び管理日誌を作成し、次の業務をおこなうこと。

ア 日常清掃

(ア) 浴槽は毎日、完全に換水して清掃をおこなうこと。

(イ) 脱衣室及び浴室は毎日、1回以上清掃すること。

(ウ) 集毛器は毎日清掃及び消毒すること。

イ 日常点検

(ア) 消毒装置が正常に動作しているかの確認をおこない、必要に応じて塩素系薬剤を補充すること。

(イ) 貯湯槽内の湯水の温度は、すべての箇所において摂氏60度以上に保つこと。

(ウ) 毎日の全換水時に、目視、触診、打診等の方法により排(環)水口の蓋等が堅固に固定されているか点検すること。

(5) 水質維持管理

指定管理者は、公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準等に関する条例を遵守し、浴場を快適かつ衛生的に利用できるよう次のとおり維持すること。

ア ろ過機の運転調整をおこない、必要に応じて消毒薬の注入をおこなうこと。

イ 水質測定のため、測定機器を使用して定時及び適宜、水質測定をおこない、測定結果を記録し保管しておくこと。

ウ 水量は適宜補給し、水位を維持すること。

エ 1日1回水道メーターの確認をおこない、使用水量を記録すること。

【 浴場水質検査 】

公衆浴場法施行細則、公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準等に関する条例に基づき、次のとおり実施すること。また、実施結果は検査の翌日から起算して3年間保管すること。

毎日実施するもの(自主測定)

測定項目	基本測定時間	基準値
遊離残留塩素 (mg/l)	午前9時	0.4mg/l 以上
湯温	午前11時30分	40度(+2度)
室温	午後2時	20度(+10度)

基本測定時間のほかに、水質の汚染度合に応じて適宜測定をおこなうこと。

年 1 回検査機関へ検査依頼し、実施するもの

検査項目	基準値
濁度（度）	5 度以下。
有機物（全有機炭素の量）。ただし、塩素化イソシアヌル酸等を用いて消毒しており、有機物（全有機炭素の量）の測定結果を適用することが不適切な場合は、過マンガン酸カリウム消費量（mg/l）	有機物（全有機炭素の量）の場合は 8mg/l 以下、過マンガン酸カリウム消費量の場合は 25mg/l 以下であること。
大腸菌	1 個/ml 以下。
レジオネラ属菌	検出されないこと。

（ 6 ）マニュアルの作成

指定管理者は、衛生措置の基準の順守についての自主的な管理マニュアル及び点検表を作成し保管しておくこと。また、その内容について職員に周知を徹底すること。